



1

(1)	2900	(2)	$\frac{5}{6}$	(3)	1	(4)	$\frac{13}{100}$
-----	------	-----	---------------	-----	---	-----	------------------

2

(1)	1500円	(2)	100度	(3)	6.28 cm <sup>2</sup>	(4)	45分
(5)	35人	(6)	90票	(7)	18 cm <sup>2</sup>		

3

(1)	25枚	(2)	8回目		
-----	-----	-----	-----	--	--

規則性を調べると

回数	1	2	3	...	□
枚	1	4	9	...	□×□

1 = 1×1, 4 = 2×2, 9 = 3×3 より

(3) □ 回目のタイルの枚数は □×□ と推測できる。  
よって, 169 = 13×13 より 13 回目

13 回目

4

(1)	36分後	(2)	40分後
-----	------	-----	------

P 地点から Q 地点までにかかる時間は  
 A :  $2500 \div 40 = 62\frac{1}{2}$  (分), B :  $2500 \div 60 + 10 = 51\frac{2}{3}$  (分), C :  $2500 \div 90 + 20 = 47\frac{7}{9}$  (分)  
 よって, 2 番目に着くのが B, 3 番目に着くのが A である。  
 すなわち,  $62\frac{1}{2}$  は 62 分 30 秒で  $51\frac{2}{3}$  は 51 分 40 秒である。  
 (3) したがって, その差は 10 分 50 秒である。

10 分 50 秒

5

(1)	1 : 2	(2)	2 : 3
-----	-------	-----	-------

AE : EB = 1 : 2 より, 四角形 EBCF =  $45 \times \frac{2}{3} = 30$  (cm<sup>2</sup>)

右の図のように, 面積を ア, イ, ウ とすると  
 三角形 BCF は長方形 EBCF の半分の面積となるので  
 イ + ウ =  $30 \div 2 = 15$  (cm<sup>2</sup>) となる。

(3) 底辺を BF とすると イ と ウ は高さが等しい三角形なので底辺の比と面積の比は等しい。  
 よって, BH : HF = 3 : 2 より  $イ = 15 \times \frac{2}{3+2} = 6$  (cm<sup>2</sup>)  
 また, ア と イ は高さが等しい三角形なので面積の比と底辺の比は等しい。  
 よって, ア : 6 = 2 : 3 より ア = (4 cm<sup>2</sup>)

4 cm<sup>2</sup>

学校名	区 市立 私	小学校	受験番号	
氏名	ふりがな		得点	

↓ここにシールをはってください↓



25J120

